

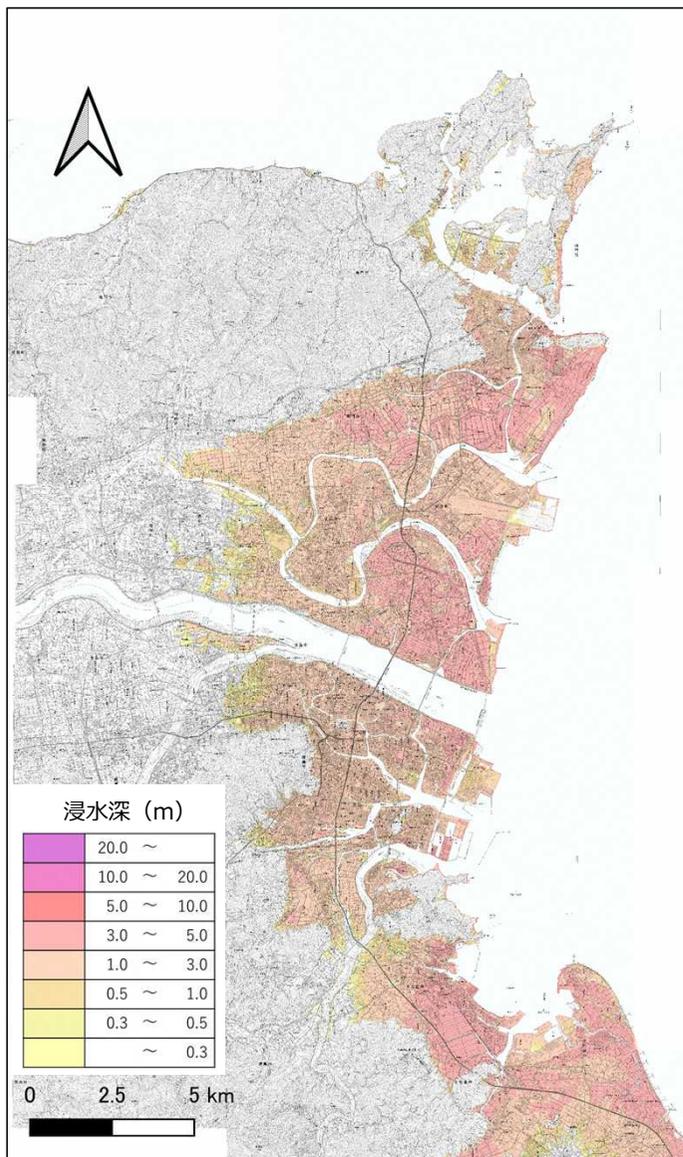
# 【津波浸水想定に関する諸条件等】

資料 1

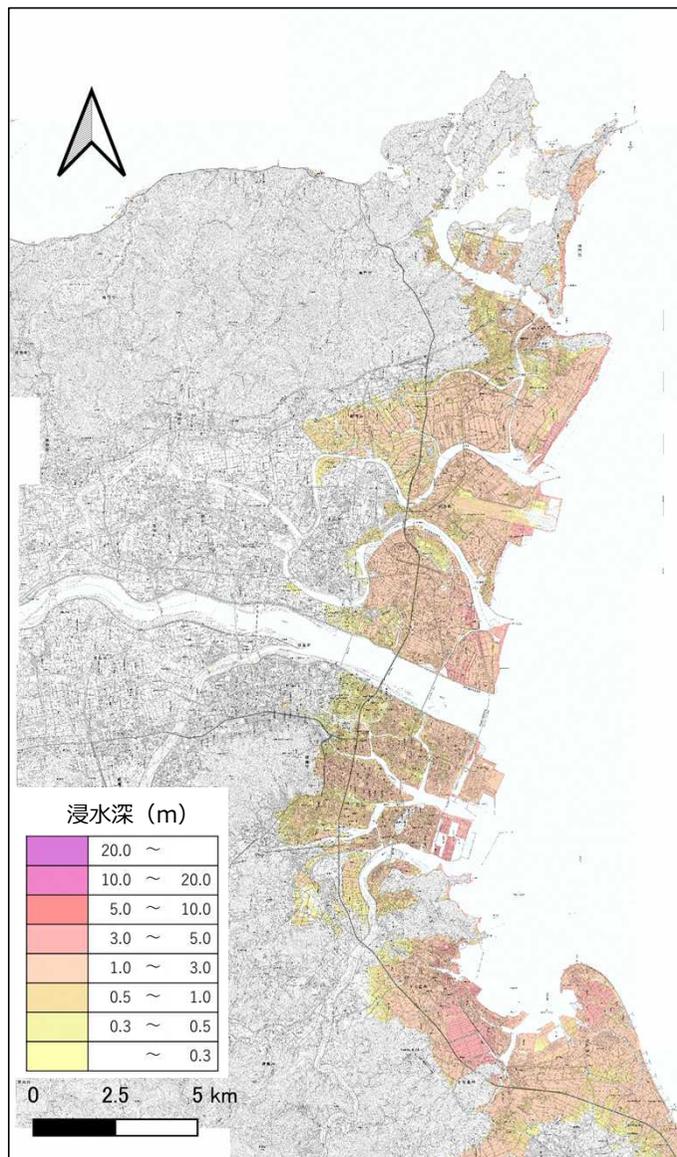
名称		徳島県津波浸水想定	南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会	徳島県津波浸水想定
公表時期		H24.10	R7.3	R7.9
予測主体		徳島県	内閣府	徳島県
予測事項		津波浸水域・浸水深		
津波断層モデル ※H24より変更なし	選定モデルケース	国（南海トラフの巨大地震モデル検討会）が設定した11ケースから徳島県に大きな影響を及ぼすと考えられるケース③、⑨、⑩、⑪※を地域海岸毎に選定 ※別添【資料4】参照	11 ケース	【徳島県津波浸水想定(H24)】と同じ
	想定震源域	<ul style="list-style-type: none"> <li>海溝軸側：プレート深さ約10kmからトラフ軸までの領域</li> <li>内陸側：プレート深さ約30kmから深部低周波地震が発生している領域</li> <li>東側：トラフ軸から富士川河口断層帯の北端</li> <li>南西側：九州・パラオ海嶺付近でフィリピン海プレートが厚くなっている領域</li> </ul>		
	すべり量	海溝軸側（徳島県沖）：40～50m		
	断層モデルの破壊の仕方	順次、断層破壊が伝播するモデル		
	モーメントマグニチュード	9.1		
	面積	約14万km <sup>2</sup>		
	津波シミュレーション	地殻変動量	国（南海トラフの巨大地震モデル検討会）が設定した地殻変動量 <ul style="list-style-type: none"> <li>沈降量（海域：考慮する、陸域：考慮する）</li> <li>隆起量（海域：考慮する、陸域：考慮しない）</li> </ul>	
メッシュサイズ		2430、810、270、90、30、10m格子の6領域におけるネスティング		
地形データ		<ul style="list-style-type: none"> <li>陸域：航空レーザ測量（LP）データを用いて作成</li> <li>海域：海底地形デジタルデータ（M7000シリーズ）JTOPO30を用いて作成</li> <li>河床：河川横断測量成果等を用いて作成</li> </ul>	徳島県分は【徳島県津波浸水想定(H24)】のデータを使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸域：H24公表時データをベースに、最新の航空レーザ測量（LP）データ等を用いて更新</li> <li>海域：H24公表時データをベースに、最新の深浅測量データ等を用いて更新</li> <li>河床：最新の河川横断測量成果等を用いて更新</li> </ul>
初期水位		過去5年間（H19～H23）における朔望平均満潮位	H24気象庁潮位表における年間最高潮位	過去5年間（H31～R5）における朔望平均満潮位
沿岸構造物		<ul style="list-style-type: none"> <li>護岸（コンクリート構造物）耐震や液状化に対する技術的評価結果が無ければ構造物なし</li> <li>堤防（盛土構造物）耐震や液状化に対する技術的評価結果が無ければ、堤防高を地震前の25%の高さとする</li> <li>防波堤（コンクリート構造物）耐震や液状化に対する技術的評価結果が無ければ構造物なし</li> </ul> ※幅10m程度を超えるような構造物についても上記と同じ扱い	徳島県分は【徳島県津波浸水想定(H24)】のデータを使用	【徳島県津波浸水想定(H24)】と同じ ※レベル2地震動に対する耐震評価を考慮
計算時間	6時間	12時間	12時間	

# 【浸水域・浸水深の比較（鳴門市～小松島市）】

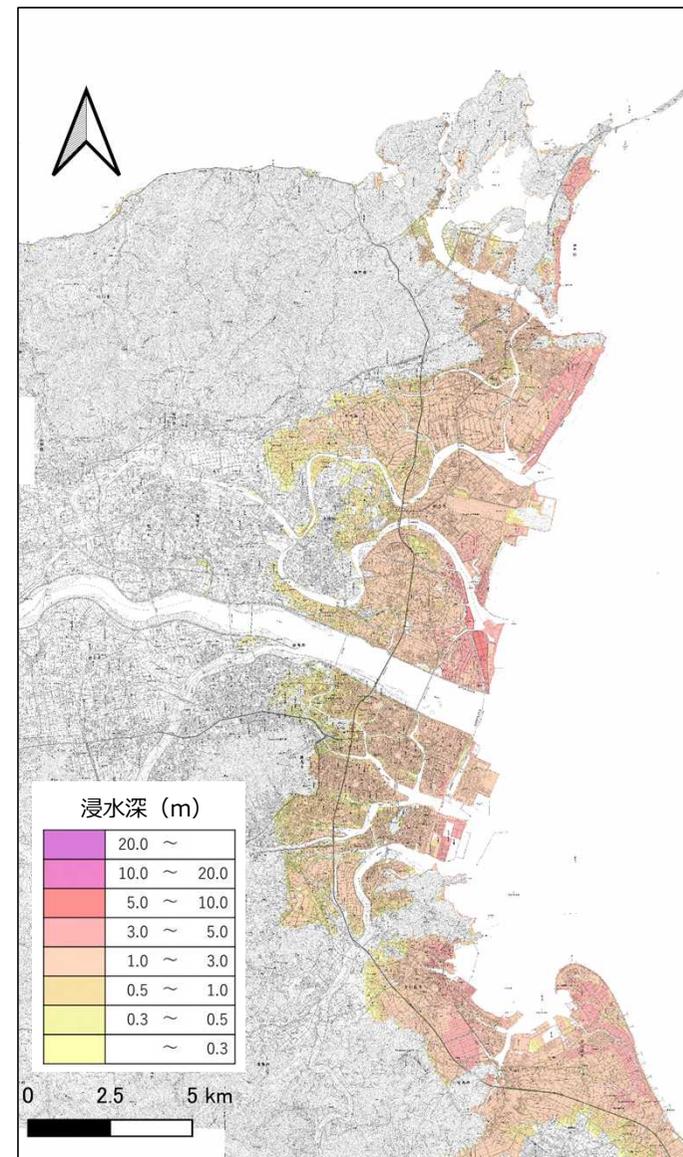
## 徳島県津波浸水想定（H24）



## 内閣府（R7）

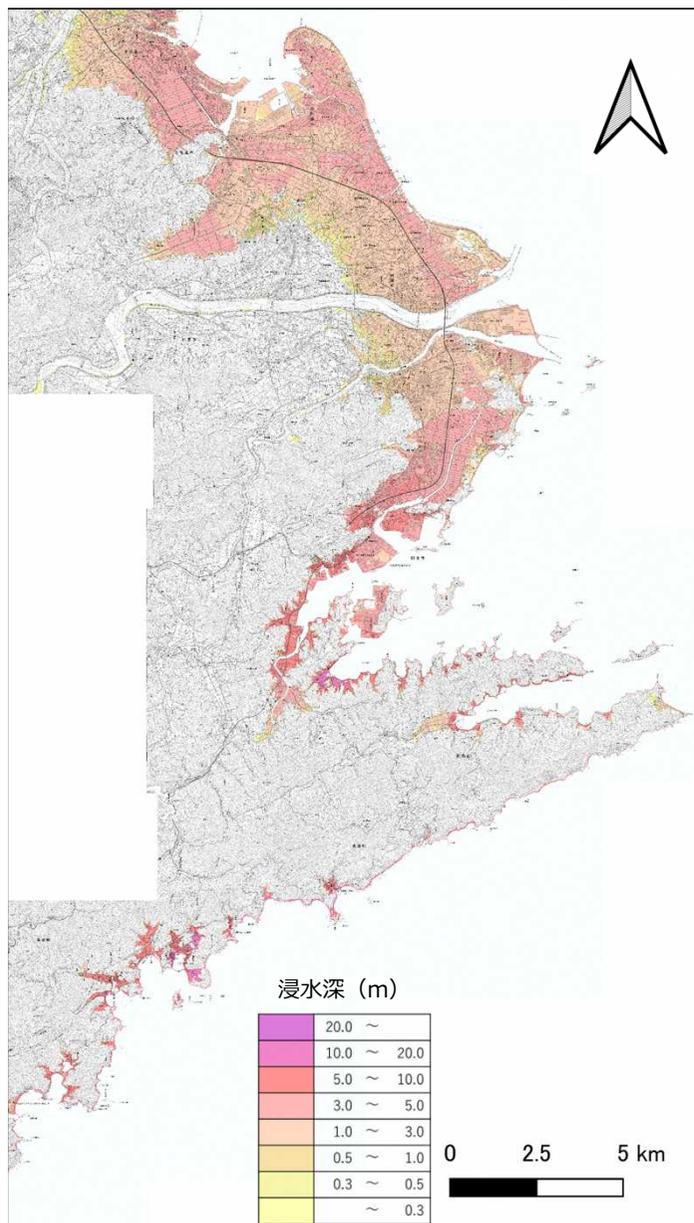


## 徳島県津波浸水想定（R7）

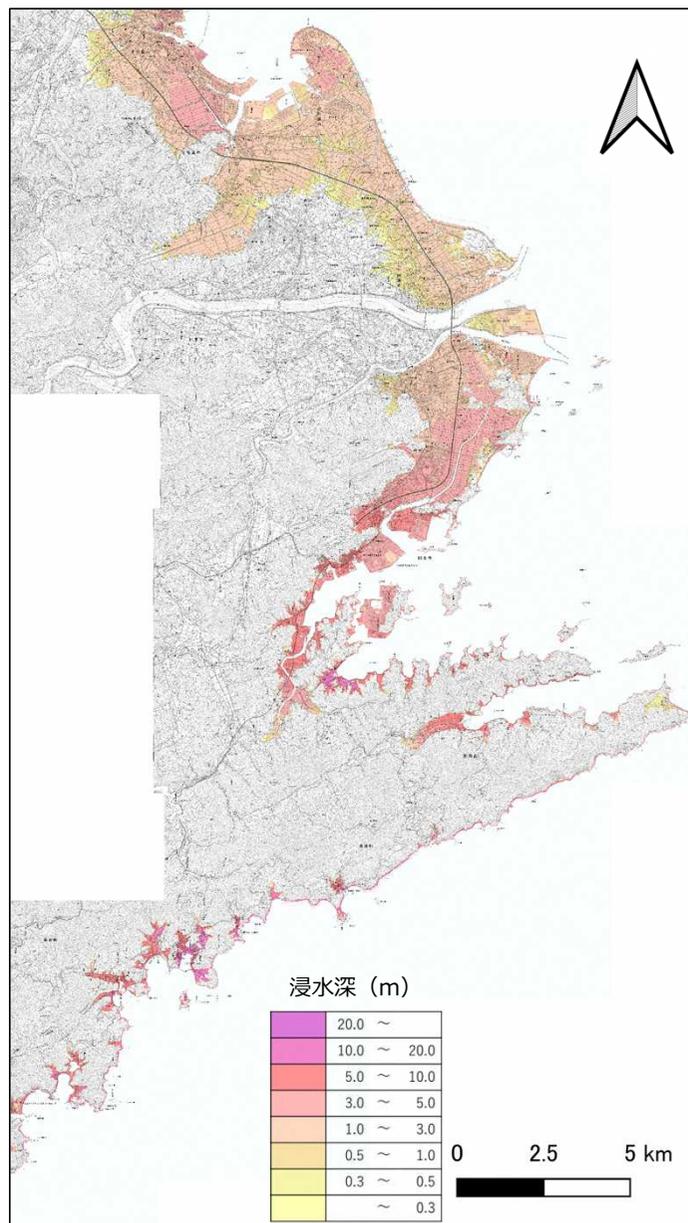


# 【浸水域・浸水深の比較（小松島市～美波町）】

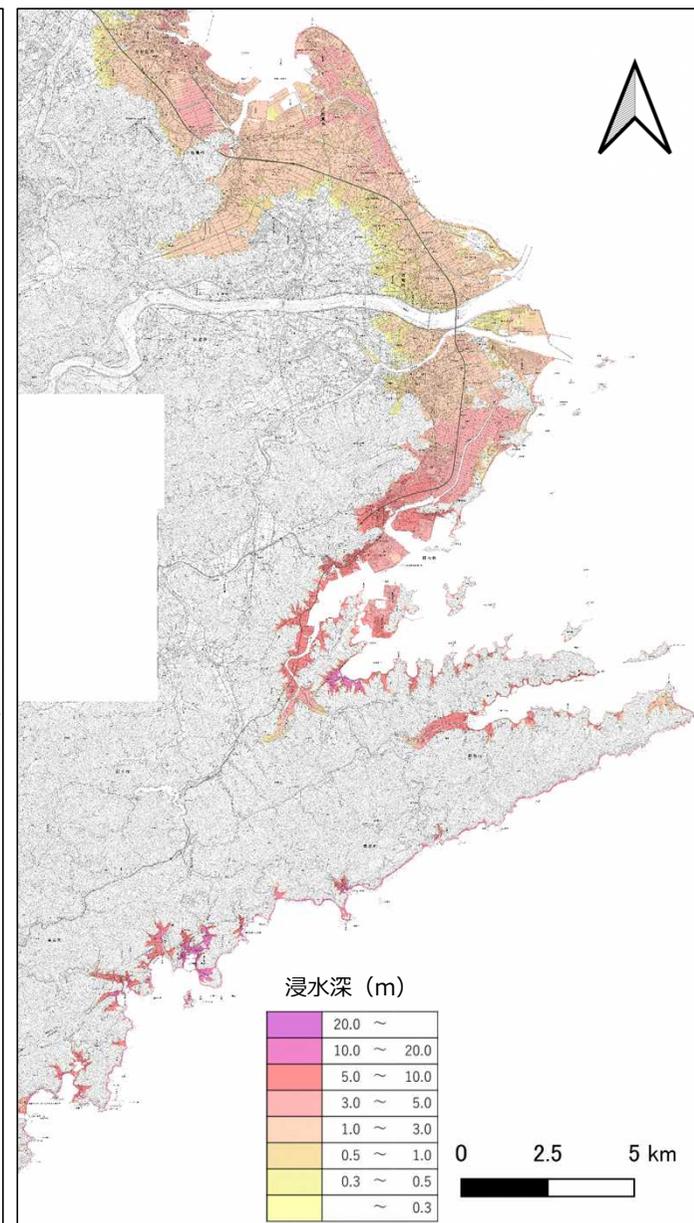
徳島県津波浸水想定（H24）



内閣府（R7）

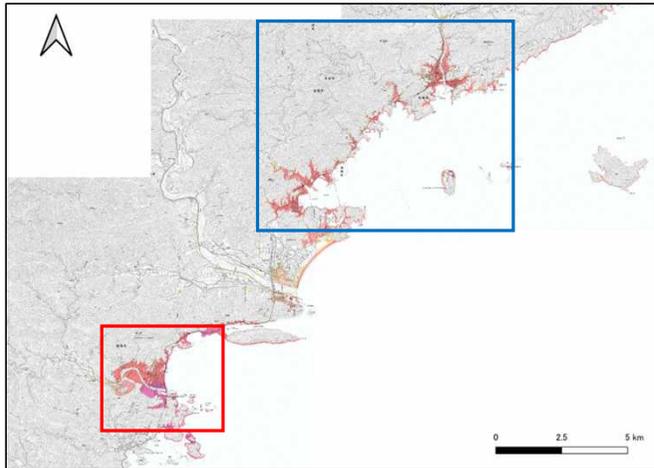


徳島県津波浸水想定（R7）

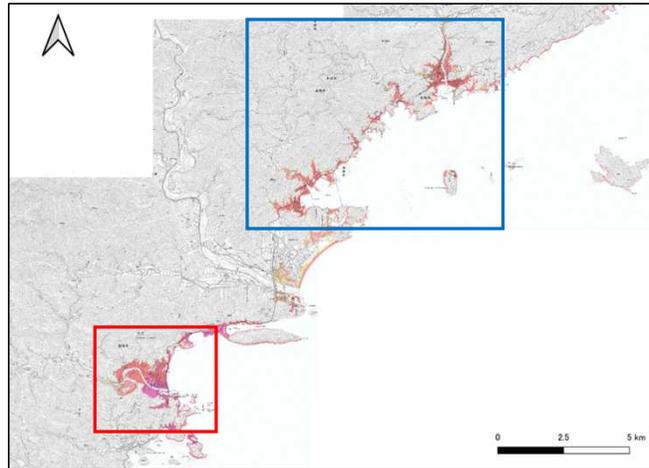


# 【浸水域・浸水深の比較（美波町～海陽町）】

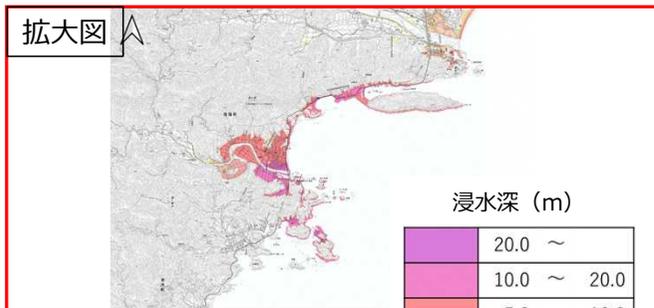
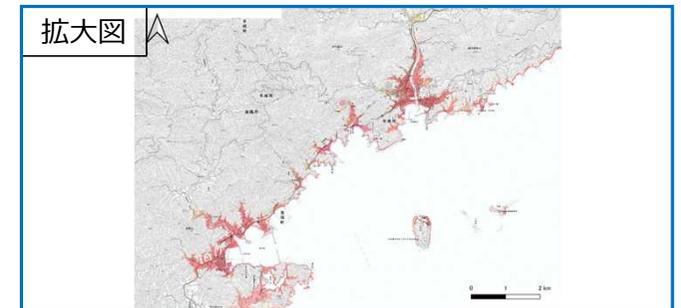
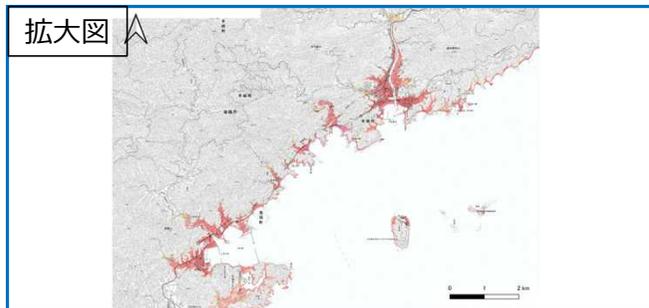
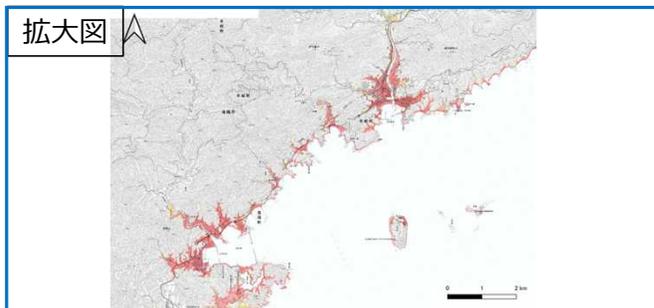
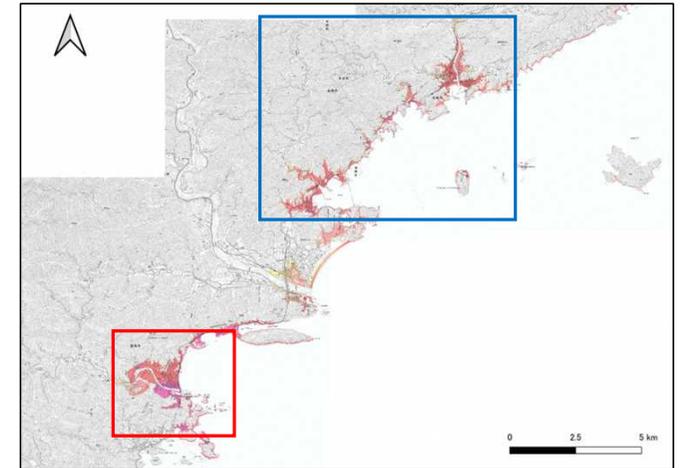
徳島県津波浸水想定（H24）



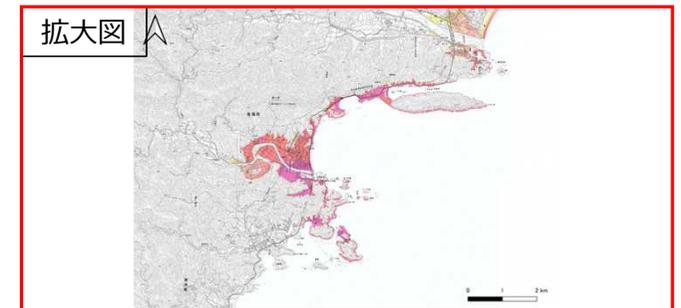
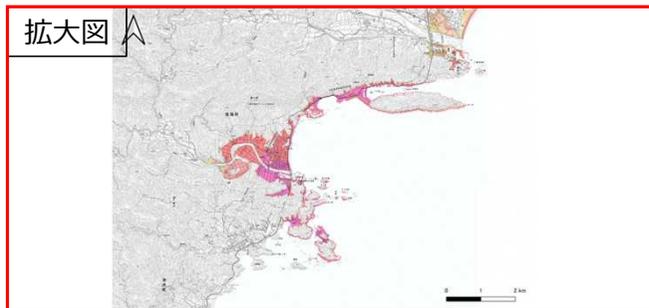
内閣府（R7）



徳島県津波浸水想定（R7）



浸水深（m）	
20.0 ~	20.0 ~
10.0 ~	10.0 ~ 20.0
5.0 ~	5.0 ~ 10.0
3.0 ~	3.0 ~ 5.0
1.0 ~	1.0 ~ 3.0
0.5 ~	0.5 ~ 1.0
0.3 ~	0.3 ~ 0.5
~	~ 0.3



## 【浸水域の増減（全体図）】

赤色：徳島県津波浸水想定(R7)のみ浸水  
 青色：徳島県津波浸水想定(H24)のみ浸水  
 緑色：両結果で浸水

### ■ 浸水域増減の主な理由（徳島県津波浸水想定(H24)との比較）

#### 【減少要因】

- ・施設整備の進捗（高速道路盛土、堤防耐震化）
- ※特に、吉野川北岸の高速道路盛土が整備され、これが防潮堤の役割を果たすことで北島町や藍住町では浸水域が大幅に減少。

#### 【増加要因】

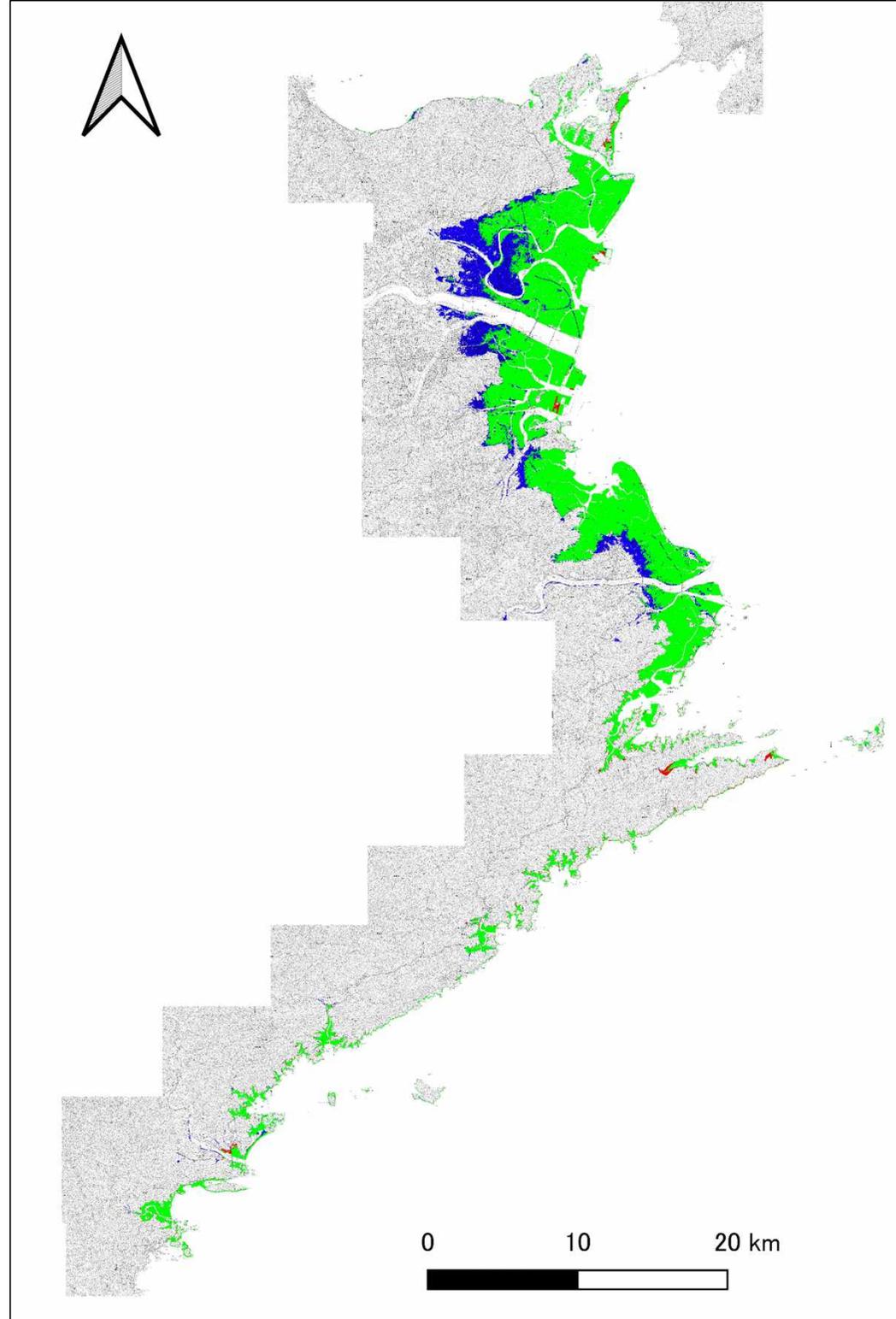
- ・朔望平均満潮位の上昇
- ・地形データの精緻化により、低地部分を高精度に反映

### ■ 浸水深 1 cm以上 (単位：km<sup>2</sup>)

市町村	R7.9徳島県 <sup>※1</sup>	備考
鳴門市	27.9	
松茂町	11.1	
北島町	1.9	
藍住町	0.0	0.04km <sup>2</sup>
徳島市	40.1	
小松島市	25.8	
阿南市	37.0	
美波町	5.3	
牟岐町	2.5	
海陽町	7.3	
計	158.9	
(参考)	H24.10徳島県 <sup>※1</sup>	R7.3内閣府 <sup>※2</sup>
県全体	201.4	148.6

※1：各浸水面積の値は複数の地震波源による津波解析結果を重ね合わせたもの（最大4波源）

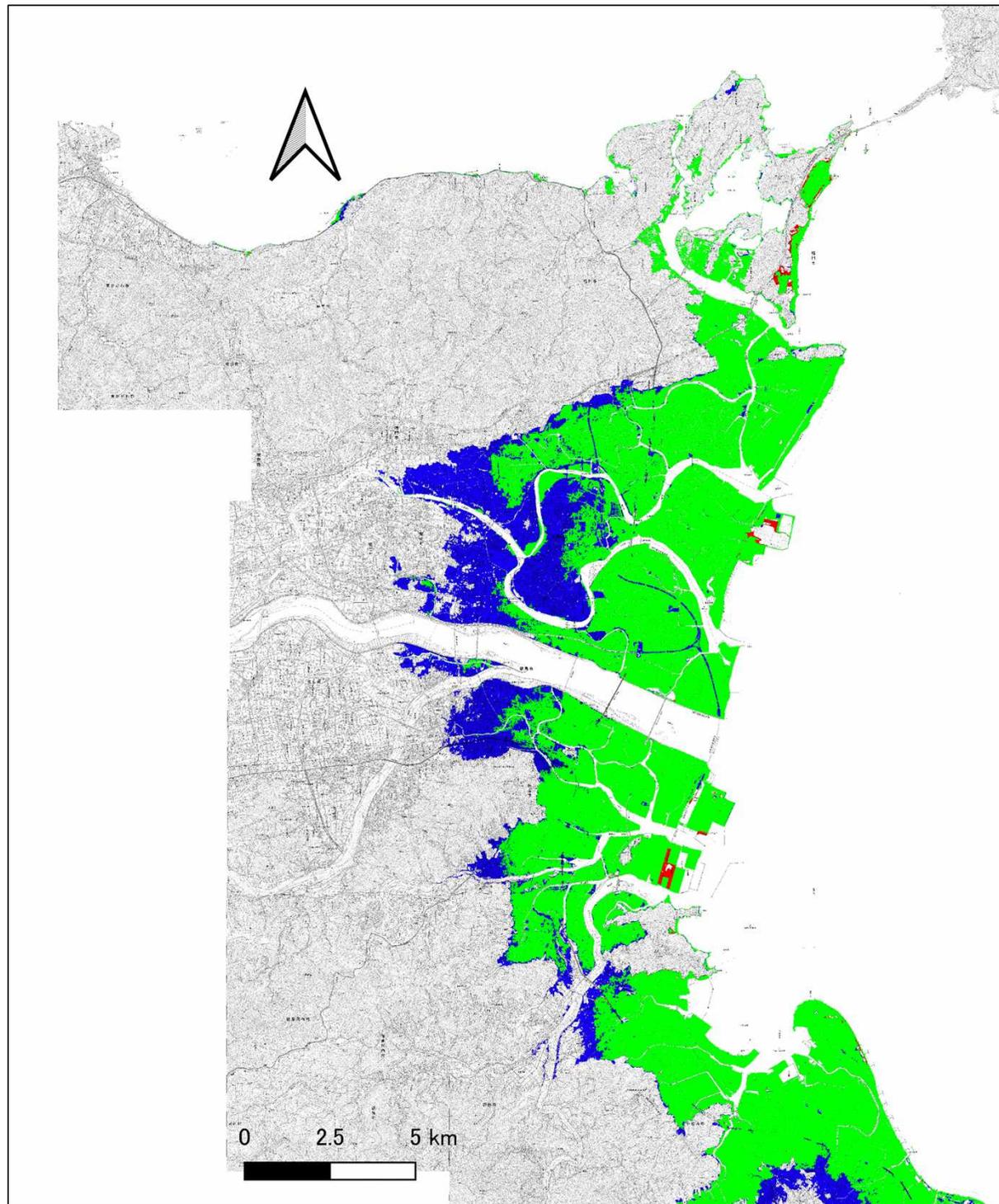
※2：ケース③（全11ケースのうち浸水面積が最大となるケース）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を使用したものである。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 215）」

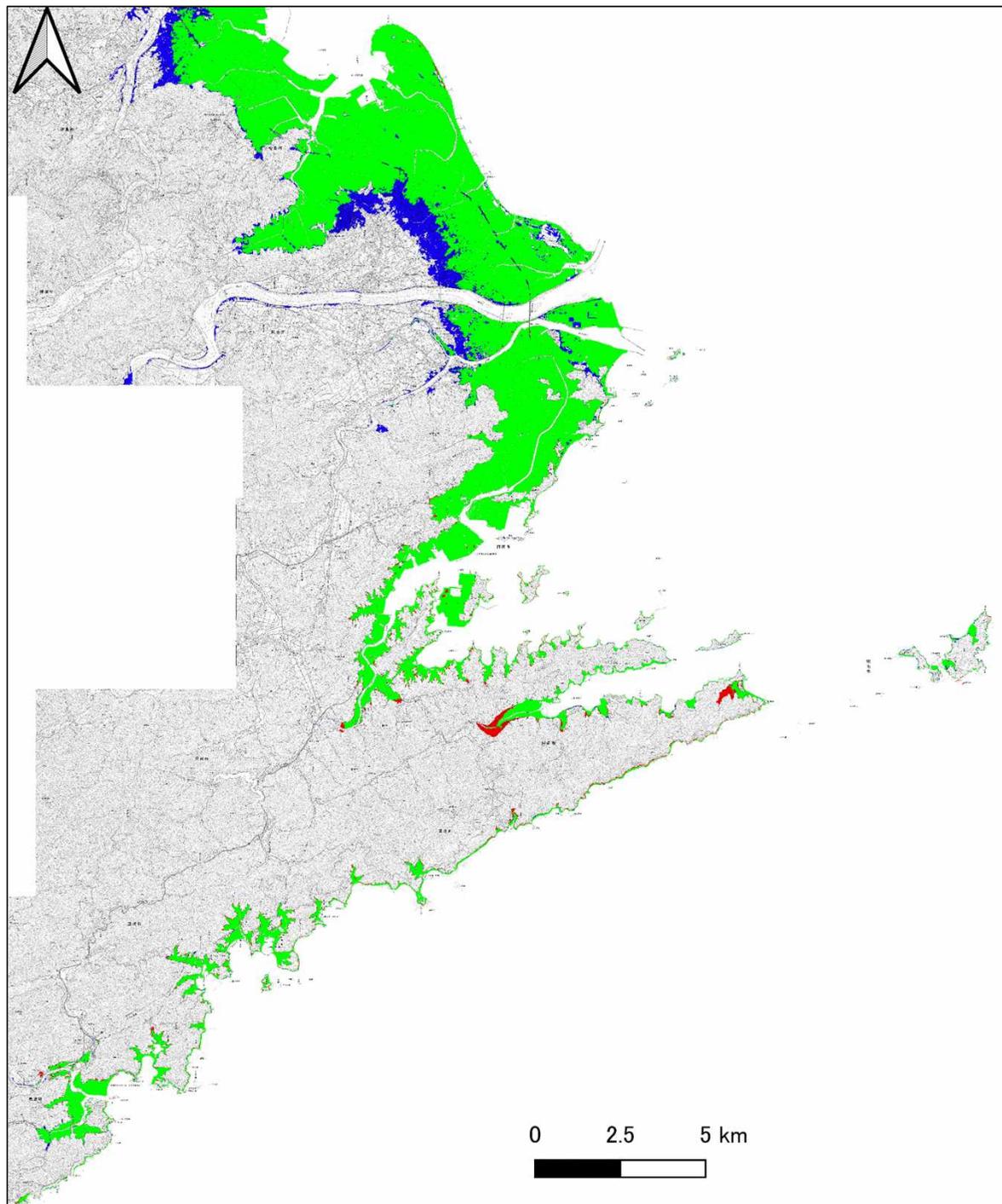
# 【浸水域の増減（詳細版：鳴門市～小松島市）】

赤色：徳島県津波浸水想定(R7)のみ浸水  
青色：徳島県津波浸水想定(H24)のみ浸水  
緑色：両結果で浸水



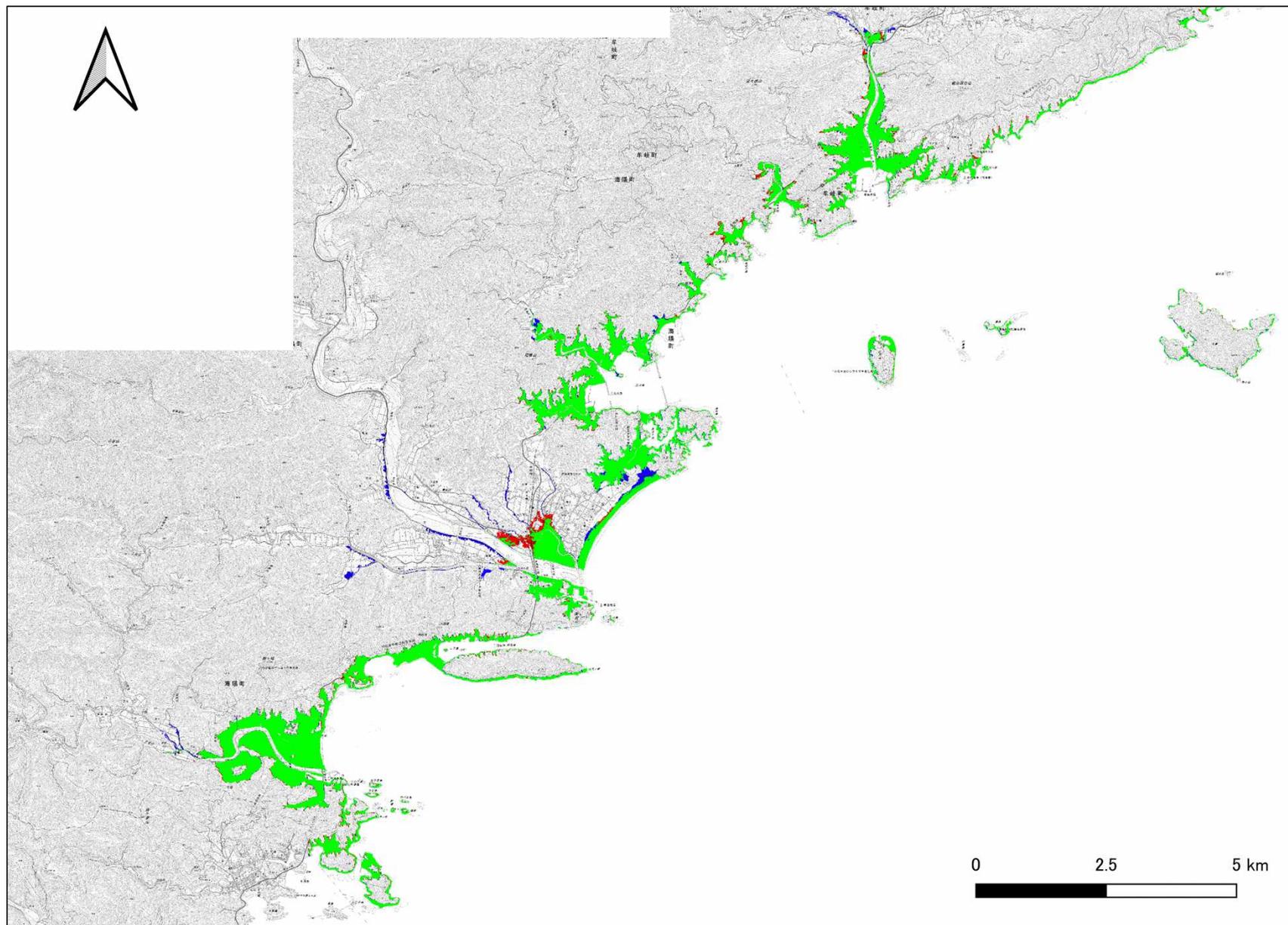
# 【浸水域の増減（詳細版：小松島市～美波町）】

赤色：徳島県津波浸水想定(R7)のみ浸水  
青色：徳島県津波浸水想定(H24)のみ浸水  
緑色：両結果で浸水

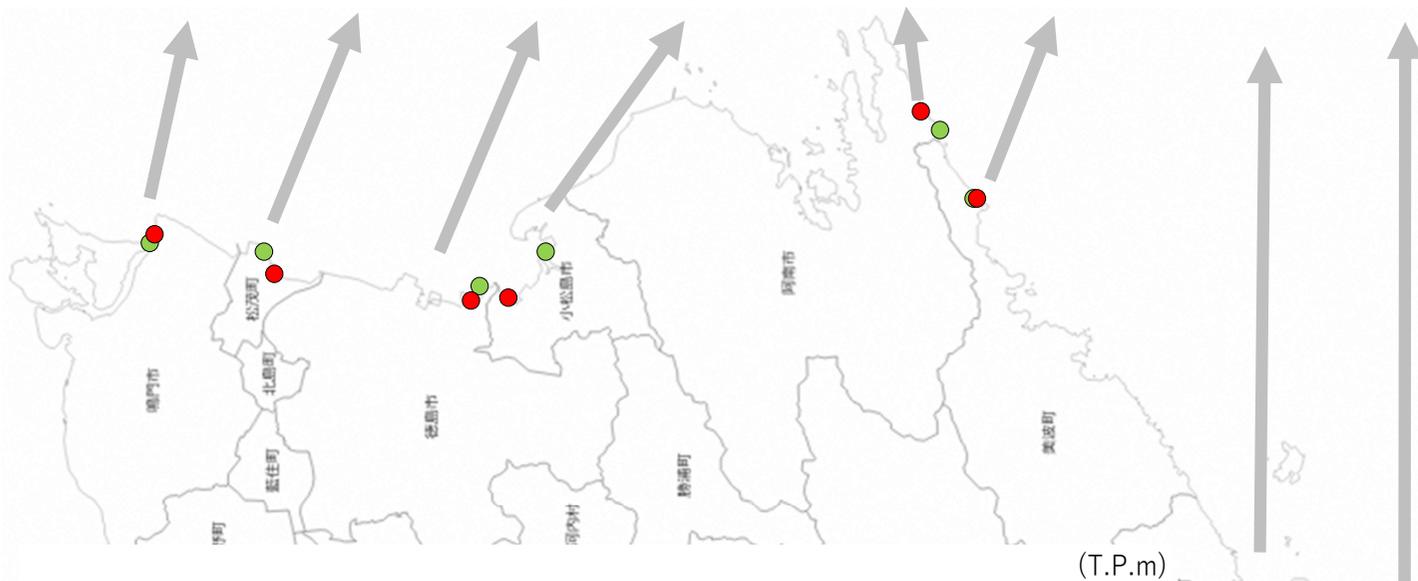
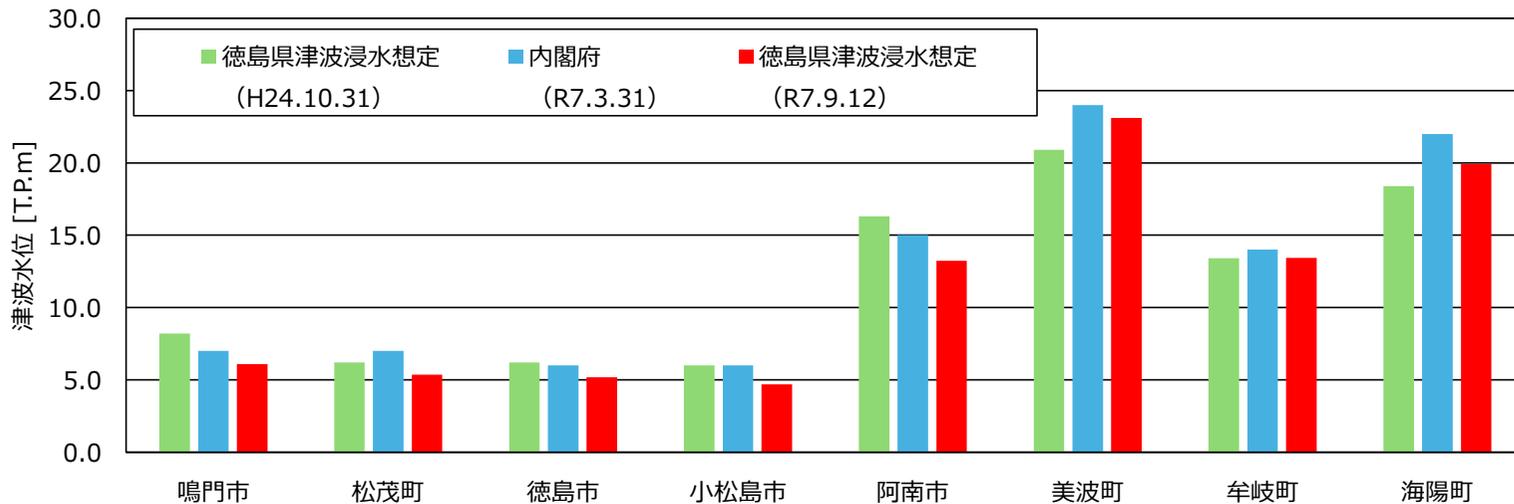


# 【浸水域の増減（詳細版：美波町～海陽町）】

赤色：徳島県津波浸水想定(R7)のみ浸水  
青色：徳島県津波浸水想定(H24)のみ浸水  
緑色：両結果で浸水



# 【津波水位の比較】



● 徳島県津波浸水想定 (H24) 最大値地点  
● 徳島県津波浸水想定 (R7) 最大値地点

**概ね変化なし**

※阿南市以北  
「徳島県津波浸水想定(R7)」の津波水位は、「徳島県津波浸水想定(H24)」、「内閣府(R7)」よりも**低い**傾向にあるが概ね変化なし。

※美波町以南  
「徳島県津波浸水想定(R7)」の津波水位は、「徳島県津波浸水想定(H24)」と同等か**高い**傾向、また「内閣府(R7)」よりも**低い**傾向にあるが概ね変化なし。

市町村	徳島県津波浸水想定 (H24.10.31)	内閣府 ※ <sub>1</sub> (R7.3.31)	徳島県津波浸水想定 (R7.9.12)
鳴門市	8.2	7	6.1
松茂町	6.2	7	5.4
徳島市	6.2	6	5.2
小松島市	6.0	6	4.7
阿南市	16.3	15	13.2
美波町	20.9	24	23.1
牟岐町	13.4	14	13.4
海陽町	18.4	22	19.9

※ 1 : 全ケースの最大値